

弊社発注工事における不適切な路盤材の使用について

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社は、ガス導管を道路等に敷設する工事等を行う場合には、指定された道路復旧を行うことを条件に、担当行政から道路占用許可等を受け、その上で工事を発注しております。

このたび、弊社が日鉄パイプライン&エンジニアリング(株) (以下、「NSPE」)等に発注したガス導管敷設工事463件の内、337件※において、指定された材料以外の不適切な路盤材を使用した施工が行われ、その上で事実と異なる記載の工事完了届を行政に提出していたことが判明したため、行政に報告し、お詫びいたしました。 ※NSPE・キャプティ共同企業体に発注した75件を含む(施工は全件NSPE)

弊社といたしましては、このような事態が生じたことを重く受け止めており、お客さまならびに行政をはじめ関係者の皆さまに大変ご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。今後、速やかに詳細な再発防止策を策定し、徹底してまいります。

記

1. 不適切な路盤材の使用の概要と件数

(1) 不適切な路盤材の使用の概要

ガス導管敷設工事後に道路等を埋め戻す際、「再生粒度調整砕石」を使用するよう指定された路盤部に「再生クラッシャーラン」を使用して道路等の埋め戻しを行っていました。

(2) 件数

337件

2. 判明した経緯

本年9月26日にNSPEより、施工中の現場において指定された材料以外の不適切な路盤材を使用した施工が行われていたとの報告を受けました。その後、NSPEが2016年4月以降に施工した463件のガス工事を全数調査したところ、11月15日に、337件で同様の事象が発生していたことが判明いたしました。

3. 弊社の対応

(1) 不適切な路盤材を使用した施工案件への対応

弊社では、不適切な路盤材を使用した施工案件337件の路面点検を終え、舗装のひび割れ等の不具合が発生していないことを確認しており、路面点検を継続することで、安全性を確保するよう管理を徹底してまいります。しかしながら、道路占用許可時に申請した仕様と異なり舗装を適正に復旧できていないことから、是正工事を実施することを前提に、今後の対応については専門家の知見を得つつ、行政との協議を踏まえて対応いたします。

(2) NSPE以外の工事会社への対応

弊社が工事を発注するガス導管敷設工事会社に対して、調査(現場抜き取り調査、聞き取り調査等)を実施しております。

4. 発生原因について

(1) 弊社に起因するもの

指定された路盤材を用いて施工されたことについての弊社での確認は、ガス導管敷設工事会社が作成する落成検収図書に添付された工事用黒板写真を目視で確認・判別するのみとなっており、結果として管理が十分ではありませんでした。そのため、ガス導管敷設工事会社からの書類の審査が不十分なままとなり、弊社から行政に提出する工事完了届の内容が事実と異なってしまいました。

(2) NSPEに起因するもの

NSPEからは、①担当部署における希薄なコンプライアンス意識、②施工管理者に対する路盤材の特性等に関する教育の不足、③路盤材の調達に関する管理の不足等を背景に、施工管理者の施工時間遵守の意識が強く働きすぎた結果、事実と異なる書類を提出した、との報告を受けております。

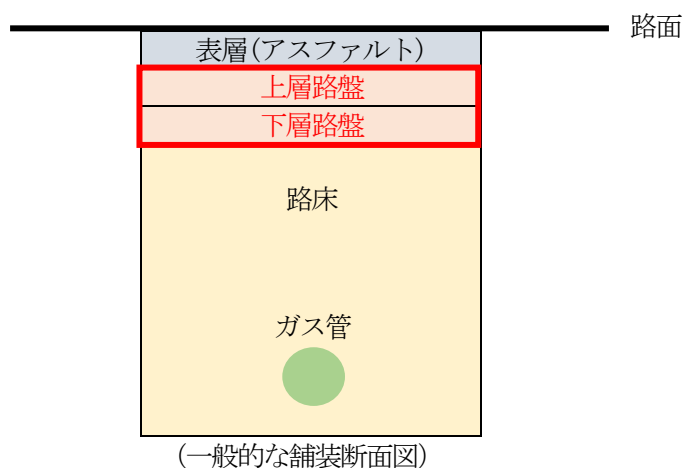
5. 弊社における再発防止策について

路盤材の仕様が明記された伝票を確認することに加え、現場抜き取り検査項目に路盤材の確認を追加することで、事実と異なる報告や不適切な施工の防止を図ることとし、今後行政とも調整してまいります。

また、NSPE 内の再発防止策に加え、弊社が工事を発注するガス導管敷設工事会社に対して、施工管理者・施工班に対する法令・契約仕様の順守、不適切行為防止に関する教育を実施いたします。

【参考1：舗装の構造】

- ・路盤および表層からなり、路床上に構築されています。
- ・上層路盤部または下層路盤部に「再生粒度調整碎石」を使用するよう指定されたガス導管敷設工事現場で、「再生クラッシャーラン」を使用していました。



【参考2：路盤材】

- ・再生粒度調整碎石、再生クラッシャーランは、アスファルトやコンクリート等の建設廃材を破砕したものです。一般的には、再生粒度調整碎石は廃材を割ったものに粒度調整材（破砕屑、砂等の細粒骨材）を入れているもの、再生クラッシャーランは廃材を割った状態のものです。

